

# 12月議会報告

平成22年11月29日(月)～12月17日(金)までの19日間

一般会計 補正予算(第4号)

15億57,276千円を追加

**総額538億4,533万6千円**

- 保育所費 **【5,700千円】**  
公立保育所(19箇所)へのAED配置経費
- 児童館費 **【1,962千円】**  
児童館(6箇所)へのAED配置経費
- 農業振興費 **【24,816千円】**  
企業等農業参入支援事業  
(作物の試験栽培や加工品の開発など農業に参入する企業等への補助他)
- 観光費 **【8,000千円】**  
牛深海中公園グラスボート活用事業  
(環境に配慮した低燃費エンジンへ交換)
- 小学校建設費 **【23,500千円】**  
大江小校舎・一町田小体育館の耐震補強工事
- 中学校費 **【11,000千円】**  
御所浦北中学校体育館の耐震補強工事
- 幼稚園費 **【1,200千円】**  
幼稚園(4箇所)へのAED配置経費

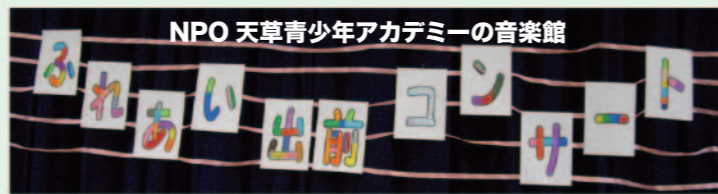


★今議会で、特に嬉しかった事は、私が今まで推進したAEDを小さな子ども達の幼稚園・保育園・児童館等に対応頂いたことです。(これまで、小・中学校や公共施設に配置済み)  
これからは配置された施設において、取り扱いの普及講習等の充実と共に、私立の保育園・幼稚園にも配置される様取り組みたいと思います。

★今議会で特に論議を呼んだのが、国保税が10%アップになる、天草市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定です。  
内容は、平成23年度から3カ年の標準基礎課税総額(国保税として必要な額)を試算した結果、年平均約30億円となり、この総てを国保税でまかなう場合、約49%の引き上げが必要となります。そのため、被保険者の急激な負担増を緩和する為約10%(平均で12,500円)アップで調整提案がなされました。私は、最初の質問から医療費抑制のため、市は毎年上昇を見る医療費の何%かを、市民の健康づくり・対策に当てるよう提言を行っています。  
今回、一般質問でも早期発見早期治療のため、人間ドックの対象年齢の区分を、5歳から2歳に短縮される様提言を行い、平成23年より3歳刻みで対応いただく事になりました。  
皆さんも健康第一で、健康診断等の受診を積極的に行い、医療費抑制にご協力下さい。



心臓麻痺など、心肺停止の救命は、心臓マッサージとAED(自動体外式除細動器)を使用した電気ショックによる蘇生法しかありません。ちょっとした勇気が大切な命を守ります。



## NPO 天草青少年アカデミーの音楽館「出前コンサート」後期を開催



障害を持ちながら、プロとして活躍している音楽家を小・中学校に派遣、子どもたちが気軽に芸術に触れる機会をつくとともに、生きることのすばらしさや努力することの大切さを伝える事業です。(これまで37校で実施)  
私は、NPO 天草青少年アカデミーの音楽館事務局長として後期の出前コンサートを開催しました。(後期は、11月16～19日まで小・中学校7校で実施しました)

今回のアーティスト

安藤正太郎「バイオリニスト」を紹介します。

- ・1971年 愛知県江南市生まれ、誕生直後に視力を失う。
- ・3歳よりバイオリンを始める。
- ・1994年 同朋大学仏教大学卒業(浄土真宗大谷派僧侶・教師資格取得)
- ・1997年 はり師・きゅう師・マッサージ・あんま・指圧師資格習得。
- ・86年の中電ホールのリサイタルを始め、国内外でコンサートやオーケストラの共演や指導、講演を行う。
- ・現在、鍼灸マッサージ師、安藤治療ステーションリーダーとして活躍。

# 一般質問報告



## 1. 市民の健康対策について

○子宮頸ガン⇒天草市の対応

**質問** 6月議会で、ワクチン接種で制圧できる、子宮頸がん支援の要望に市長は、国の動向を重視・検討をお約束されたが、今回、厚労省の予算が上がるが、天草市の取り組みはどうなるのか。

**回答** 新年度(平成23年)からの、助成開始に向け、準備を進めている。

○人間ドック⇒次年度の取組

**質問** 現行5年刻みの制度を、段階的に3年から2年への支援出来ないか

**回答** あらゆる機会を捉え受診率の向上に取り組んでいる。ご質問の対策は、平成23年より対象年齢を5歳刻みから3歳刻みにし、早期発見・治療に結びつけ、市市民の健康増進と医療費の抑制に努めてまいります。

○体育館建設について⇒ 建設計画は

**質問** 市民センター体育館は、昭和43年に(約4千9百万)建設され、市民の健康施設として、天草の中心スポーツ施設として愛されて来ましたが、耐震調査で1S値が0.01と危険で、解体されます。この後、度々様な計画がなされるのか。

**回答** 教育部内で検討中、必要性・場所・規模・管理面・既存施設との関連性や平成25年に、県民体育祭が天草で開催されるので、検討を進めている。

**要望** 計画に当たっては、スポーツ関連団体の要望等聴取され、市民に親しまれる体育館建設をお願いします。

○ロコモ運動⇒天草市の取り組みは

ロコモティブシンドロームとは、骨・関節・筋肉など運動器の障害で要介護か、そのリスクが高い状態。

**質問** 5年前生活習慣病からくる、メタボリックシンドローム(メタボ)が大きな問題となると提言しました。今回、新たに注目されているのが、「ロコモティブシンドローム、運動器症候群」で寝たきりの4人に1人に当たるそうです。天草市の取り組みは。

**回答** ロコモは、メタボや認知症と並び寝たきりや要介護状態の3大要因。  
対策として、予防の為の健康づくりとして、運動・食生活・健診の充実。生活に密着した運動や運動しやすい環境。バランスの取れた食生活習慣。受診し易い体制を図り、天草市健康づくり審議会でも取り組みたい。

## 2. リフォーム支援の経緯について どのように検討されているのか

**質問** 天草でも経済の長期低迷が続いており、緊急的な支援策として、住宅リフォーム支援事業は、どのように検討されているのか。

**回答** 建設業関連団体にも検討会議に参加いただき、市独自の助成制度を検討しており、議員提案の経済・雇用対策に向けた「住宅リフォーム緊急支援事業」としても大いに効果があり、市独自の制度を平成23年4月より施行し、今後も十分に研究してまいります。

**感想** 天草市独自の支援制度、地域経済や雇用対策に有効であるか、見守りたいと思います。

## 3. 行政自治区について、未加入対策は

**質問** 地域の様々な活動の先頭でご活躍の、区長さんより貴重な提言を頂きました。アパートや新興住宅で区に未加入で、区の運営に支障が出ているとのこと。市として度の様に対応されているのか。

**回答** 市はこれまで、転入転居の窓口で加入のチラシ配布や不動産関係者様への協力依頼等を、今後、ご苦勞頂いている対象地域の区長さんとも協議を行い、伝統と歴史がある区の活動が今後も地域の皆様にとって必要不可欠なものと認識いただけるよう、行政としても努力します。

**感想** 今回の未加入対策について、北地区の区長さんより励ましの電話がありました。お話を聞いていて、区長さんは本当に大変なお仕事であり、人と人・人と地域・地域と地域のコミュニケーションづくりの、一番大切な役割を受け持つて頂いていると思いました。区長さん達に恥ずかしくない、議員で在りたいと思います。

## 4. イノシシ対策について。 行政の取り組みはこれで十分か

**質問** 大変関心の高い、身近な問題です。近頃は、民家や学校等のグラウンド周辺に出没していますが、行政としてどう取り組まれるのか。

**回答** 農作物のみならず、人的被害も危惧されるので、有害鳥獣被害防止特区等の申請や新たな組織の設置を考え、取り組んでまいります。

**感想** 是非、特区申請と対策組織設置でイノシシ撲滅を期待します。